


<p><b>[氏名]</b> 倉浪 孝明 東京都出身、1979年生</p>	
<p><b>[現職]</b> 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 兼任講師 立命館大学 OIC 総合研究機構 補助研究員</p>	
<p><b>[学生へのメッセージ]</b></p> <p>大学卒業以来、製薬会社に勤務しておりました。ヘルスケア産業、特に医薬品や医療機器は参入障壁が非常に高い分野とされています。その背景には、規制の厳しさ、専門的な知識の必要性、高い資本コスト、既存プレイヤーの影響など、さまざまな要因が絡んでいます。現代のヘルスケア産業では、テクノロジーが革命的な変化をもたらし、診断、治療、患者管理、予防に至るまで、医療のあらゆる側面を効率化し質を向上させています。</p> <p>しかし、私が皆さんに伝えたいのは、ヘルスケアは単なるテクノロジーや製品の提供ではなく、それらを活用する人間の視点であり、人々の健康や生活の質（QOL）を支える基盤となるものです。ヘルスケアの本質が「人のため」であることを理解し、自分たちが社会にどう貢献できるかを考えるきっかけを提供したいと思います。</p>	
<p><b>[専門分野]</b> 技術経営、医療システム</p>	
<p><b>[担当科目]</b> ヘルスケア・イノベーション</p>	
<p><b>[主な経歴]</b></p> <p>武田薬品工業株式会社勤務を経て現職</p> <p>武田薬品在職時、実務において、子どもの神経発達症の初診受診まで長期間に及ぶことを目の当たりにし、待機短縮に関するイノベーションの創出やプロセスの効率化に関する研究に従事</p> <p>2022年3月法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科修了 経営管理修士（専門職）</p> <p>2024年9月立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科博士課程後期課程修了 博士（技術経営）</p>	
<p><b>[主な研究業績/社会的活動]</b></p> <p><b>【著書】</b></p> <p>1. 玄場公規、井口卓郎、石川貴章、倉浪孝明 イノベーションの力 経営資源の制約を超えてイノベーションを創出する戦略的マネジメント 同友館（2025）</p> <p><b>【査読付学術論文】</b></p> <p>1. Takaaki Kuranami, Kimiya Kon, Kiminori Gemba and Tetsuaki Oda. “Reducing Wait Times for Children's Developmental Disorders Consultations Via Simplified Primary Care Assessments”. International Journal of Life science and Pharma Research.,</p>	

Volume14., No 3 (July) 2024, pp L1-L9.

2. 倉浪孝明、小田哲明. 『子どもの発達外来初診に至るまでの保護者による情報収集行動』 .Medical Secretary. Vol.20., No2, 2023. pp15-22.

3. Takaaki Kuranami, Makoto Saito, Kiminori Gemba and Tetsuaki Oda.

“Problem Behaviors as Perceived by Parents Before Their First Consultation at A Developmental Outpatient Clinic: A Questionnaire Research Study”.

International Journal of Life science and Pharma Research., Volume13., No5 (September) 2023, L408- L417.

**【国際学会発表】**

査読有り

1.倉浪孝明、今公弥、小田哲明、玄場公規（2025）

『子どもの描画による神経発達症支援の検討』 Asia Pacific Conference2025.

2. Takaaki Kuranami, Kimiya Kon, Kiminori Gemba, Makoto Saito, Tetsuaki Oda(2023)

“Realization of Medical Cooperation through the Use of Assessment Sheets – Accelerating the Response to Initial Outpatient Consultations for Developmental Disorders in Children -”. FAPA2023. Taipei.

3. Takaaki Kuranami, Kiminori Gemba, Makoto Saito, Tetsuaki Oda(2023)

“Assessment Sheets Conducted at Non-Specialty Medical Facilities for Children with Developmental Disorders Involve Reduced Consultation Time at Specialty Medical Facilities?”. Asia Pacific Conference2023. Beppu.

**【国内学会発表】**

1. 倉浪孝明、小田哲明(2022)

『子どもの発達障害の初診待機期間に関する研究 –保護者の行動から病院経営に与える響-』 日本経営システム学会第 69 回全国研究発表大会

2. 倉浪孝明、玄場公規、小田哲明(2023)

『アセスメントシートを利用した子どもの発達障害における診察時間の影響について』 日本経営システム学会第 71 回全国研究発表大会

**【所属学会・団体】**

日本経営システム学会、研究・イノベーション学会、日本医療秘書学会、日本児童青年精神医学会

**【資格・表彰】**

公益財団法人 MR 認定センターMR 認定証（登録番号第 067312 号）